

八千代オイコス かわら版 第34号



タンポポ

平成29年6月20日発行
NPO 法人八千代オイコス
<http://www.yachiyo-oikos.jp/>



菜の花エコウォーキング

平成29年4月2日(日)



八千代市に引っ越してきてから5年目。緑が丘駅近辺が生活圏だった私が、八千代オイコスのメンバーになってから、毎月定例活動で先輩の皆さん達にいろいろ教えてもらいながら八千代の生活を楽しんでいます。

今年も恒例の菜の花エコウォーキング(4/2)を楽しみました。八千代緑が丘駅から桑納川までの花輪川近辺を6Km(約2時間)歩きました。

一般の家族連れ、夫婦、一人だけ、友人一緒の参加者たちと、オイコスのメンバーがゴミ拾いです。



▲満開の菜の花の中を散策



▲高秀牧場脇で見つけたモンシロチョウ

途中で説明を聞きながら、改めて八千代のことを知ることができます。散策途中ではお互いにおしゃべりし、春の植物を眺め自然の良さを楽しめます。

吉橋城址にある”貞福寺”では歴史を学び、八千代八福神のひとつである恵比寿さんを拝みます。

“高秀牧場”の牛とひと時戯れ、菜の花で咲き乱れた花輪川(準用河川)を“朧月夜”、“春の小川”を口ずさみながらゴールの土橋まで歩きました。

ゴミを一か所に集めた後、高秀牧場の搾りたて牛乳や甘酒を温めて美味しく飲みました。

今回初めて焼き芋もたべました。お疲れさまでした。

また来年も楽しみたいですね。(スタッフ 藤田)



▲高秀牧場の牛と対面



▲高秀牧場提供の搾りたて牛乳や甘酒



▲枯れ枝で焚き火をしながら焼き芋を焼く

総会談話

今年もオイコス総会を前にして、残念ながら事務局長は病気からの復帰成らずで、事前の準備に若干どたばたもしましたが4月9日（日）無事終了しました。

今年は会にとって大変嬉しい事が有りました。新入会員がいつぺんに4人も増えた事です。今回のメンバーには数年来「田んぼの会」で父娘参加のヤングパパも居て、これからのオイコスの活動に大いに期待する処です。

田んぼと言へば、今年のオイコス米づくりも5月連休に賑やかに田植えが行われました。先日読んだ本の中に日本には200億匹の赤トンボがいるとあり、「その99%が田んぼが生み育てている」とありました。しかし、日本人が米を食べなくなり、水稲の作付面積は1960年代の半分以下に減ったとありました。

トンボに限らず里山に命を育む無数の生き物の循環を考えると、我々の営む小さな田んぼも、それらにほんの少しだけ寄与する効果もあるのだと自信を持って米作りを行えば、赤トンボも増えるかなと考えると一層楽しくなりそうです。

オイコス代表 川瀬純一

平成29年度 活動予定表

月	日	曜日	項目
4	2	日	春のエコウォーキング
	9	日	花輪川作業・第17回八千代オイコス総会
	11	火	イオンデー
	23	日	田起こし(神久保田圃)
	30	日	シロカキ(神久保田圃)
5	7	日	田植え(神久保田圃)
	11	木	イオンデー
	14	日	花輪川作業・定例会
	27	土	市民活動サポートセンター事業報告会
6	4	日	田の草刈り
	11	日	花輪川作業・定例会・イオンデー
7	1	土	田の草取り・川の学校広報やちよ掲載
	9	日	花輪川作業・定例会
	11	火	イオンデー
	22	土	花輪川作業・川の学校最終打ち合わせ
	29・30	土・日	川の学校第1日目・川の学校第2日目
8	5	土	ホテル観賞会@石神
	11	祝	イオンデー
	13	日	花輪川作業・定例会
	27	日	田の草取り

月	日	曜日	項目
9	10	日	花輪川作業・定例会
	11	月	イオンデー
	17	日	稲刈り取り・ハザ架け
10	8	日	米収穫、脱穀
	11	水	イオンデー
	15	日	花輪川作業・定例会
	22	日	秋の花輪川エコウォーキング
11	29	日	市民活動フェスティバル
	11	土	イオンデー
12	12	日	花輪川作業・定例会
	2	土	オイコス忘年会
	10	日	花輪川作業・定例会
	11	月	イオンデー
	16	土	餅つき会準備
1	17	日	餅つき会
	11	木	イオンデー
	14	日	花輪川作業・定例会
2	11	祭	花輪川作業・定例会・イオンデー
3	11	日	花輪川作業・定例会・イオンデー
	25	日	春のエコウォーキング

平成29年度市民活動団体支援金交付制度(1%支援制度)

この制度は皆さんの投票により市で定めた支援金が我々の活動資金となります。今年も八千代オイコスへ「選択届け出」をお願い致します。

対象者：18歳以上の市民の皆さん

届出期限：平成29年7月18日(火)

どうぞよろしくお願い致します！

八千代オイコス団体番号

25

今年も米づくりが始まりました

米づくりを通した子どもたちへの願い

神久保「もち米づくり」は今年9年目、オイコス新会員3名と一般家族5世帯を迎えスタートしました。4月23日と30日、絶好の行楽日和に恵まれ「田起こし」と「代掻き」を行いました。早速、新しいメンバーも耕運機の運転にチャレンジ。一方、子どもたちは「オケラ」や「アマガエル」と触れ、ぬかるみに足を取られながら泥遊びです。田んぼ奥の雑木林で絶滅危惧Ⅱ類「キンラン」を発見！自然探検も行いました。代掻きで耕したデコボコの田んぼは、昨年導入した「はしご」で泥を平らに均します。今年は水口に木枠を設置し洗い場を作ってみました。些細なことも新たな試みは今後も続けたいものです。

これから暑い夏に向け約半年間と年末の餅つきを皆さんと共に、特に子供たちには米づくりを通して「未来に残る、一生残る経験」となることを願っています。(スタッフ 宮竹)



▲米づくりがスタートしました



▲耕運機にチャレンジ！



▲絶滅危惧植物「キンラン」を発見



▲代掻きと泥あそび



▲子どもたちもがんばりました



▲一列に並んで苗の手植え



▲年末の餅つきまでがんばりましょう

この田んぼでの最後の田植え

5月7日(日)、日差しが薄く、微風が吹く、絶好の田植え日和。今年、米づくりに新たに二家族を迎え、20数名が集まる。

田んぼが長方形であるので、16号線方向に前を向き、横一列に整列。両端にロープ係りがスタンバイ、ロープが張られ、一斉に苗を数本つかみ、そっと、土に挿し込む。そして一列後進、を繰り返す。例年、水への陽の照り返しで汗みずくなるが今年は陽が少なく、助かる。ロープを張っても、数列植えていくにしたいが、横から見ると少しゆがんでいる個所も見受けられるが、例年から見ると、直線に近く、美しい(?)田んぼに見える。

子どもたちは、一画を与えられ、川瀬さんの指導で泥んこになりながら、自分たちの区画は、キチンと田植えを終了。

全体で、1時間程度で完了。私は過去、ダイビング二回の記録保持者ですが、今年は、ダイビング者は出ず、良かった。

何も無かった田んぼに、緑の苗が整然と列を作り、「水田」に変身。これから月一の草取りを経て、秋には黄金の稲穂が揺れる事を願って散会した。(スタッフ 小林)

新会員紹介



新谷 啓一

数年前からエコウォーキングや蛍狩りに参加していました。

5月には60年振りに田植えや川の除草をしました。

私の郷里は福岡の柳川で、家の周りは堀で囲まれ、子供時代は魚とりが、遊びや生活の一部でした。小さい川では箆でドジョウを掬ったり、タナゴや鮒やカジカやエビを釣ったり、中河川では、ウナギを受けや長ばりで採ったりしていました。今は時々田舎へ帰り兄弟で熊本の球磨川へ行き、胴長を着て川の中程まで行き、ハヤやウグイを釣り、島原雲仙より流れ出る川の河口で、網受けてモズクガニを取って楽しんでいます。八千代では20坪ほどの借り農園で野菜作りをして、8割近くの作物は隣近所の方々に配っています。私の学校の先輩は、柳川市職員で柳川を戦前の水郷柳川に更生させて、市の観光収入に寄与しています。又後輩は佐倉で印旛沼汚染対策をやっていました。私たちが生きていく為には水は必要不可欠であり、身近な水辺環境を良くしたいと考え、オイコスに入り先輩の方々と一緒に行動したいと思っています。



小森 茂男

今年度からオイコスの活動に参加させて頂くことになった小森です。

山登りや川遊びなど自然を相手にした遊びが大好きです。

子供達が小さい頃は、秋川や丹沢の清流を求めて、家族でよくデイキャンプに出かけておりました。

その後は一人で、もくもくと山登り。山の頂上で食べる昼食は最高に美味しかったです。

最近は野外での活動も少なくなり、もっぱらフィットネスクラブで、少しの運動とサウナ風呂で汗をかいております。

そうは言っても、やはり野外での活動は気持ちが良いです。オイコスでの活動を通じて少しでも環境保全に役立つと共に、大好きな自然を相手に楽しみながら活動していきたいと思っています。



中町 康人

今年度よりオイコスに入会させて頂くことになりました。中町康人と申します。

オイコスを知るきっかけになったのは八千代市の広報誌で田植え体験の募集をたまたま見つけたことです。大学は農学系の学部を卒業していたこともあり、もともと自然や生き物が大好きだったのですが、田植えは全く未経験で、娘と一緒にワクワクしながら参加をさせて頂きました。田植えは今年で4年目の参加で、その間にもホテル観賞会やエコウォーキングなど魅力的なイベントに参加させて頂きました。私は生れは千葉市内で高校時代に八千代市に転居してきましたが、その後大学進学で県外へ転出し、就職もそのまま県外だったので久しく八千代市を離れておりました。オイコスの活動に参加させて頂き、今まで知らなかった八千代の自然に触れることが出来ました。またそれと同時に近年のホテルの生息数など環境の破壊も確実に進んでいることも伺いました。今回お誘い頂き、微力ながらオイコスの活動を通して八千代市の自然の保全に取り組んで行きたいと思っています。



川田 修

自己紹介 プロフィール
昭和23年、東京都大田区生まれ。横浜市、千葉市に移転し現在の八千代市に至ります。
現況：前年度に会社を退職し年金生活に成りました。

退職後、写真撮影、近所のサイクリングはしていましたが、家での時間が大半を占めるようになりました。体重計測したところ、半年で5キロ太ってしまい、これはまずいと思いはじめた時、写真クラブの例会で川瀬会長からオイコスで野外活動(花輪川の環境保全等)をしないかとの誘いを受けました。日頃から野外活動を経験してみたいと思っていたので作業員ならばと思いOK致しました。4月から田植え、花輪川の作業に参加して、やはり野外活動は気持ちがいいと感じました。皆様方の邪魔にならない様頑張りますので今後とも宜しくお願い致します。

編集後記

総会が無事終了し、2017年の活動がスタートしました。新メンバーと共に、より一層楽しく充実した活動にしていきたいものですね。(TANA-J)

発行責任者：川瀬 純一

事務局&問合せ：小原 翔

☎：047-450-4663

mail：info@yachiyo-oikos.jp